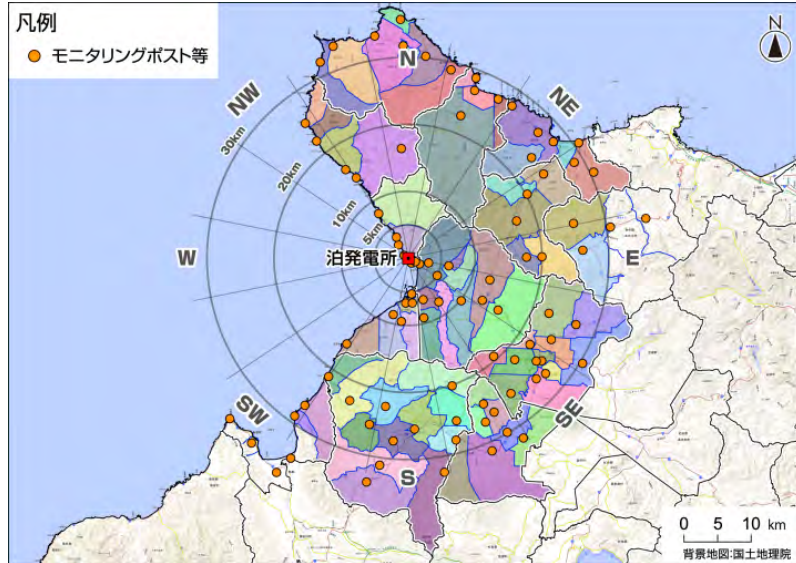


泊地域の緊急時対応（概要版） ④住民の安全確保に向けた主な対策

1. 泊地域の緊急時モニタリング地点及び一時移転の実施単位

- 緊急時モニタリング地点83地点（PAZを除く）を設定し、そこで測定された実測値に基づき迅速に防護措置を講ずる区域を特定できるよう、一時移転等の実施単位毎に関連付けを行っている。



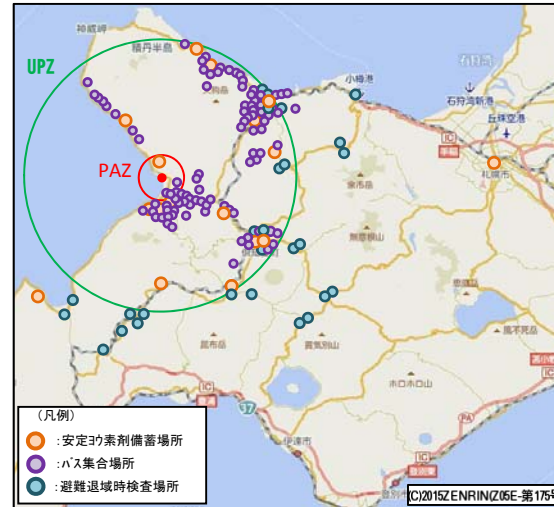
2. PAZ圏内の安定ヨウ素剤の事前配布と緊急配布

- 泊村では、PAZ圏内住民を対象に住民説明会を開催し、安定ヨウ素剤の事前配布を実施。
- 共和町では、避難を行う際にバス集合場所にて安定ヨウ素剤を緊急配布することとしており、PAZ圏内住民を対象に事前問診を実施。
- 今後も継続して説明会を実施し、転入者等への配布や事前問診を実施。



3. 避難住民等に対する安定ヨウ素剤の備蓄と緊急配布

- 北海道では、避難住民等に対する安定ヨウ素剤の緊急配布のための備蓄を実施。
- 避難住民等に対する安定ヨウ素剤の緊急配布が必要となった場合には、バス集合場所や避難退域時検査場所以、対象住民等に順次配布を実施。
- 今後、乳幼児向けのゼリー状安定ヨウ素剤の備蓄及び配布についても検討。



安定ヨウ素剤備蓄場所
北海道: 17箇所

道及び町村職員により、安定ヨウ素剤の搬送を実施

安定ヨウ素剤の緊急配布を実施

各町村が指定するバス集合場所等での緊急配布※1 (計94箇所)

泊村: 3箇所	積丹町: 1箇所
共和町: 21箇所	古平町: 9箇所
岩内町: 14箇所	仁木町: 1箇所
神恵内村: 5箇所	余市町: 26箇所
倶知安町: 9箇所	赤井川村: 5箇所

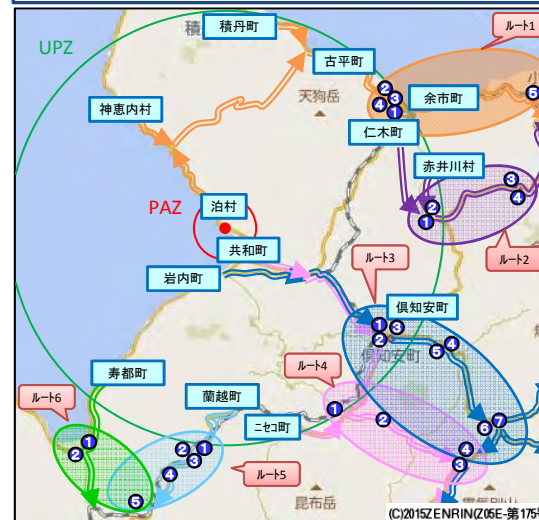
避難退域時検査場所以での緊急配布※2

寿都町: 候補地3箇所	蘭越町: 候補地5箇所
ニセコ町: 候補地4箇所	

※1: バス集合場所等で緊急配布する10町村の住民は、避難退域時検査場所以(候補地計27箇所)でも緊急配布を受けられる
※2: 避難退域時検査場所以での配布については、候補地のうち発災時に北海道が指定する箇所において配布

4. 避難退域時検査場所の候補地の設定

- 北海道では、緊急時の避難を円滑に行うため、UPZ圏内人口等を考慮し、避難元町村と各避難退域時検査場所の対応付けを行ったうえで、候補地をあらかじめ準備。



ルート	検査場所	避難元町村
1	①余市アプルポート(農道空港)②中央水産試験場③余市河口漁港④道の駅「スベースアプルよいら」⑤おたるマリ広場	泊村、神恵内村、積丹町、古平町、余市町
2	①都運動公園(赤井川村)②道の駅あいかいかわ③赤井川村山村活性化支援センター(キノコゾート入口)④キノコゾート	仁木町、赤井川村
3	①後志総合振興局の倶知安町中央公園③旧東風中学校④京極町総合体育館⑤京極アリーナ⑥喜茂別町民公園の喜茂別町農村環境改善センター、【再掲】ルスツリゾート	岩内町、倶知安町
4	①道の駅「ニセコヒュープラザ」ニセコ町運動公園②半路山自然公園③道の駅「230ルスツ」④ルスツリゾート	共和町・ニセコ町
5	①道の駅「らんこしふるさとの丘」②旧目名小学校③蘭越町山下PA④黒松内町白井川PA⑤道の駅「黒松内」	蘭越町
6	①湖路小学校②ゆべつの中、【再掲】道の駅「黒松内」	寿都町